

真岡市総合計画等推進市民会議 議事要旨

1 開催日時

令和8年7月9日（木）午前10時から12時まで

2 開催場所

真岡市役所3階 304会議室

3 出席者

- (1) 真岡市総合計画等推進市民会議委員9名
- (2) 真岡市長、真岡市副市長、真岡市教育長、部長（8名）、事務局

4 議事

総合戦略の進捗について

- (1) 令和7年度の人口の現状について
- (2) 第3期総合戦略の重要業績指標（KPI）の進捗について
- (3) 新しい地方経済・生活環境創生交付金等活用事業の効果検証について

5 委員意見等

- (1) 令和7年度の人口の現状について
 - 転入転出アンケートについて回答率・回収率を上げるため、Webでの実施もいいのではないかと思います。紙とWebの両方で実施すれば回収率は上がるのと思うので検討してほしい。
 - 婚姻の早期化を図ることについて、大人になってから機会をあげるというより、高校生のうちから、なぜ早く結婚をして、早く子供産まないといけないのかという教育がすごく必要だと思う。高校生のうちからライフプラン、自分がどう人生を歩んでいきたいか、何歳で結婚をして、何人子どもが欲しかというプランニングの教育を考えていかないといけないと思う。
 - 20歳から24歳までの人口が落ち込み、それを止めるのはなかなか難しい。真岡市で実施予定という首都圏在住の女性と真岡市の男性のマッチングのような取組など、戻ってきてもらえる仕組みにしていかないと、中々うまくいかないのかもしれない。
 - 市に何かをしてもらうことはすごく大事なことだが、家庭内でも何かできるような助けを市から得られたら一番いいと思う。真岡市でこんな取組や支援があるというきっかけを家庭内でも与えたり、出産に関するセミナーなど、学校でやらなくても市でそういうことをやってもらい、それを高校生にお知らせするとかだったら、家庭でもできると思った。家庭も協力して市と連携してUターンに関してやっていけることがあればいいのかなと感じる。
 - 出生数が10年前と比べて半分になっているということで、この数字を見て正

直びっくりした。真岡市の場合、中心市街地と周りに農村部があって、特にその農村部の場合はもっと極端に出生数が減っているのではと危惧している。できれば農村部に住んでもらい、そこで子供を産み育て、地域を元気にしていっていただきたいなど。やはり中心市街地の方がいろんな意味で、便利なのはわかるが、地域は地域の魅力もあるし、地域はやはり子供がいないと元気がなくなってくるということを実感している。市全体の話もあるが、地域のバランス、特に農村部の出生数や若者の部分についてもぜひ尽力いただきたい。

- 農業は子育て世代の働きたい方にとってすごく働きやすい場所。好きな時間に少しでも働きに来てもらうとすごく助かるというところがあるので、働く方としても短時間で働けるというのはすごくメリットだなと思う。
- 移住で、いきなり正職員で探すというのも、子育て中の方はなかなかフルで働くことは難しい。最初だけでも、短期間の働き口があって、そこでゆっくり自分の働き方を考えられるとよい。

(2) 第3期総合戦略の重要業績指標（KPI）の進捗について

- ③地域づくりの推進、まちづくりの活動に参加している市民の割合について、令和5年から7年で約1割程度減っているということで、実感としてはわかる感じがする。地域づくり事業をやっている、参加率が悪くなってきていると感じる。これは地域によって当然違うが、地域の方が様々な事業をやってもなかなか集まりにくい、特に若い人が集まらない部分があったりする。若い人たちをどう地域の中に取り込んでいくかが課題と常々思っている。
- ⑫防犯対策・防災体制の整備強化の犯罪に不安を感じている市民の割合が大きく増えている。その時々、事件、事故等によって動くかなと思うが、田舎でも犯罪が多くなっているというようなことがある。地元として防犯座談会などを通じて、引き続き、防犯、事件事故防止を周知していきたいと考えている。
- 全体としては、進捗状況で50%未満が遅れているという判定になっているが、評価1年目なので遅れているというわけではない気がする。

(3) その他ご意見

- 若い世代の声をもっと聞くチャンスを与える市にしていかななくてはいけないのではないかな。